

ホタテガイ養殖管理情報

水温が高くなってきました。新貝および成貝の施設は水温の低い下層へ沈め、稚貝採取は早朝の涼しい時間帯に行いましょう。

1 海況

現在（7月30日午前9時）の陸奥湾の水温は、表1のとおりです。各ブイの水温は、図1、2のとおり徐々に上昇して、15m層でも20℃を超えるところが見られてきました。

表1 各ブイの水温

観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)
平館ブイ	14.7 ~ 22.3	東湾ブイ	12.2 ~ 23.7	横浜ブイ	15.3 ~ 23.2
蓬田ブイ	21.0 ~ 22.1	東田沢ブイ	17.1 ~ 23.4	浜奥内ブイ	17.4 ~ 24.1
奥内ブイ	20.8 ~ 22.8	清水川ブイ	17.0 ~ 23.5	川内ブイ	16.6 ~ 23.4
青森ブイ	17.1 ~ 23.6	野辺地ブイ	18.4 ~ 24.3	脇野沢ブイ	17.8 ~ 23.0

2 養殖管理の注意点

(1) 新貝・成貝について

水温は、今後さらに上昇することが予想されます。新貝および成貝はへい死する恐れがあるので、出荷する予定以外の貝はできるだけ水温の低い下層に沈めてください。

(2) 稚貝について

稚貝採取は各自の稚貝の成長を確認しながら進めてください。

*稚貝を大切に扱いましょう。

○作業は早朝の涼しい時間帯に行い、タライや水槽の水温が上がらないように、シート等で直射日光を防ぎましょう。

○タライや水槽の水は出来るだけ深い水深帯から汲み上げ、かけ流しにしましょう。かけ流しにできない人は、タライの海水を頻繁に交換してください。かけ流しまたは海水の交換がないと水温上昇および酸欠で稚貝が死ぬか、または後遺症が残ることがあります。

○稚貝は、海水温が26℃を超えるとへい死する恐れがあります。海水温を計って、26℃を超す日は稚貝採取をしないでください。

○稚貝は乾燥にも弱いので、手早く作業を行いましょう。

*適正保有数、適正収容数を守りましょう。

○稚貝採取では決められた保有数を守りましょう。

○パールネット1段当たりの収容数を適正にしましょう。

*採取後の管理に気をつけましょう。

○採取後の稚貝が足糸でネットに付着しているかどうか見ながら作業を進めましょう。

○水深が浅いほど水温は高く、潮も速いので、採取後は施設を中層以深に沈めましょう。また、立ちきり（土俵）やオモリをつけて、施設やネットを安定させましょう。

○採取後も一部の採苗器を残しておきましょう。

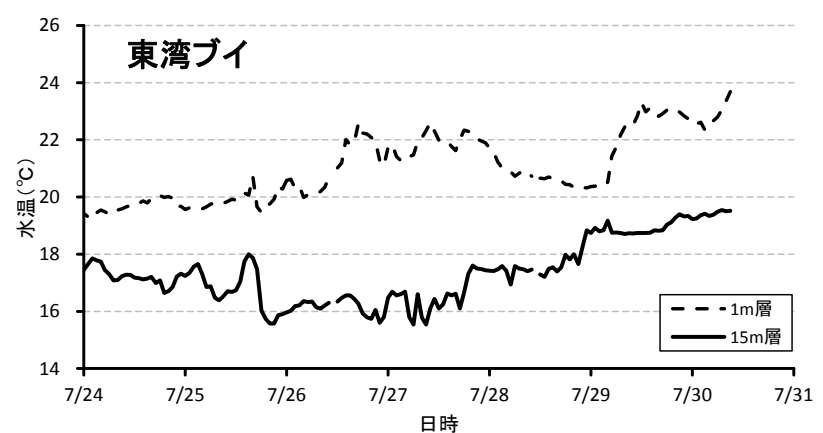
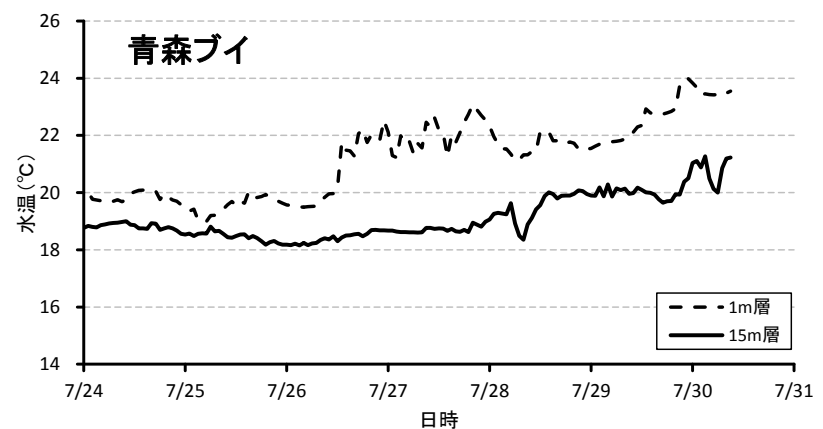
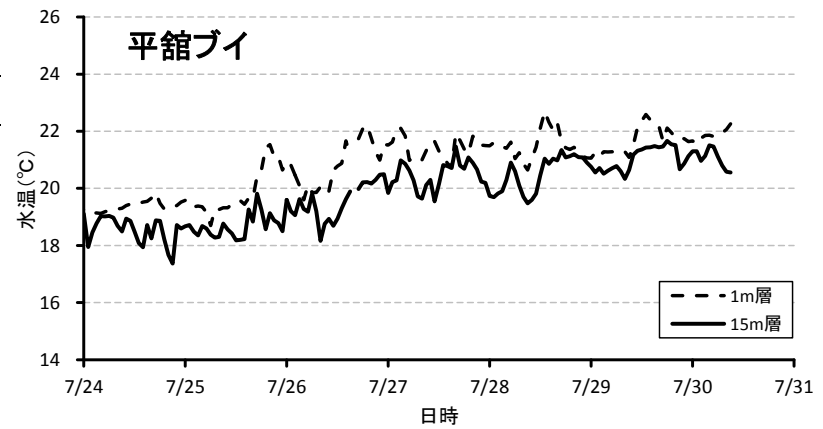


図1 海況自動観測ブイでの1mおよび15m層の毎時の水温変化

